

令和元年度(平成31年度)地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|------------------------------|
| 事業名 | 木祖村開村130周年記念事業(村歌制作事業) |
| 事業主体 (連絡先) | 木祖村 商工観光課 (0264-36-2001) |
| 事業区分 | (8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業 |
| 事業タイプ | ソフト |
| 総事業費 | 561,000円(うち支援金:411,000円) |

事業内容

木祖村開村130周年に合わせ「村歌」を制作。
村民から歌詞や単語を募集し、応募作品を基に案を作成。案をホームページや広報に掲載してパブリックコメントを集う。専門家に作詞・作曲を依頼し、村歌を制作した。アレンジも含め成果物として村歌CDを作成。



【完成した村歌】

【目標・ねらい】

催事等で村民が合唱し、村民相互の連携を深め、笑顔あふれる木祖村を目指す。

※自己評価【 B 】

【理由】

予定した事業は実施ができたが、村民に浸透させる継続的な取り組みが必要。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

開村130周年記念事業(第2部)を村が主催して11月17日(日)に村歌発表コンサートを開催した。参加した村民や来客全員(約300人)で合唱し、村民の一部ではあるが周知することができた。催事に参加しない村民に対しては広報や音声告知端末による放送等で周知し、村歌に馴染んでもらうよう努めた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後も引き続き放送等で周知すると共に、催事の際には全員で合唱等を行なうなど村民全員に村歌が浸透し、歌うことで村民同士の連携をより一層深め、村に対する愛着を高めてもらうことが必要である。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある